

番組審議会

第667回

2023年1月16日

■ 審議会の構成

委員総数 10名

委員長 音 好 宏

副委員長 中 江 有 里

委 員 江 澤 佐 知 子 尾 縣 貢
萱 野 稔 人 喜 田 村 洋 一
佐 藤 智 恵 長 嶋 有
水 無 田 気 流 目 加 田 説 子

TBSテレビ 佐々木 社 長

龍 宝 取締役

井 田 取締役

瀬戸口 編成局長

米 田 報道局長

小 池 報道局次長

鴨 下 TBSスパークル取締役

中 島 番組プロデューサー

中 田 編成考査局長

村 田 視聴者サービス部長

天 野 番組審議会事務局長

■ 議事概要

(1) 審議事項

1) 「報道の日 第2部」12月18日(日)18:30~22:48放送

2) その他

(2) 事務局報告事項

1) 視聴者からの声について

2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】（「報道の日 第2部」について）

□ニュースの数を絞って再現ドラマにしたのは非常に効果的だった。この枠だけで放送するのは勿体ない。2次使用を含めた展開を今後考えて頂きたい。

□メッセージ性を前面に出してしまうと過剰演出・誘導しすぎになる。今回は演出が抑えられていて非常に良かった。

□ストレートニュースでは普段出せないものを視聴者に考えさせるという意味で、非常に良い番組だった。

□妊婦のコロナ感染は当初は関心を持たれる話ではなかったが、今回焦点をあてたことに意義がある。

□コロナが重症化してECMOにつながれた妊婦の大変さを、視聴者はダイレクトに見ることが出来た。コロナへの緩んだ気持ちも踏まえ、価値のある映像だ。

□感動的な出産がピークでなく、子どもを産んだ自覚が持てないところにドラマが続く。そちらをメインにしたドラマの作り方にとても共感した。

□須賀川記者のアフガン取材のように記者が現場に行って五感を感じて伝える、こうした報道姿勢を是非貫いて欲しい。

□再現ドラマは事実に基づいて正確に慎重に作られていて、真に迫る出来の良いものになっていた。報道番組を身近に感じて貰うには良い手法だ。

□再現ドラマの制作者のスタッフのスキル・視聴者との距離感が、去年よりも巧みになっていて感心した。

□VTRの完成度が高いだけに、スタジオがやや冷めた印象も。コメンテーターには各人の特性を生かした場面を用意しないとコメントしにくいのでは。

□年録的な第1部と、再現ドラマを含む第2部の振り分け。ドラマ化しやすいので良い時間帯の第2部で展開するといったことにならないかどうか、気になった。

TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。(TBSテレビ番組審議会事務局)